

ドックオプション検査のご説明

当院では、先端医療機関ならではの最新技術を駆使して、「診てもらいたいところを、より詳しく」検査するため豊富なオプションメニューを揃えております。ご自身の症状・遺伝や体質・生活習慣などに応じてお選び下さい。ご不明の点や、選択に迷われる際は、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。受付や担当医がご相談承ります。

オプションは原則「事前予約制」です。

ご予約はお電話・Eメール・ファックス・郵送で承ります。2週間前までにご連絡下さい。

検査によっては曜日指定や枠制限があり、ドック受診日とは別にお越しいただく事をお願いする場合がございます。何卒ご了承下さい

★循環器検査

国民の死因のトップを占める脳や心臓等の血管の病気。倒れる前に「病気の芽の段階で発見すること」が大切です。動悸・胸痛・息切れ・ふらつき・めまいなどの自覚症状のある方や、症状が無くても、高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満・喫煙習慣・ご家族に脳卒中や心筋梗塞・50歳以上の中老年の内、2つ以上ある方はお勧めです。

- ・息切れ・むくみ→心エコー
- ・動悸→ホルター心電図
- ・胸痛→トレッドミル運動負荷心電図
- ・生活習慣病/動脈硬化→頸動脈エコー・ABI・血液サラサラ検査

★婦人科検査

女性でも多い癌は子宮癌・乳癌ですが、いずれも早期に発見できれば完治できます。それぞれ一般的な検診では、子宮頸部細胞診やマンモグラフィを行います。オプションを活用すると、婦人科エコーにより子宮体癌・筋腫・卵巣腫瘍が、HPVにより子宮頸癌のリスクが、乳腺エコーにより乳腺組織の豊富な比較的若い女性が、発見可能です。また、閉経後の女性の主要な寝たきりの背景に骨粗鬆症があることが知られています。こちらも早期発見早期治療が重要です。閉経後の皆様、一度は骨密度検査を受けて下さい。

★腫瘍マーカー

癌の診断の基本はエコー・カメラ・CTなどの画像診断ですが、血液の腫瘍マーカーを組み合わせることで、思わぬ癌が見つかることがあります。各々の癌で上昇する成分を組み合わせた「腫瘍マーカーセット」は超、お勧めです。

★頭部CT・頭部MRI

脳の病気の診断に活躍します。CTでは脳腫瘍・脳出血・脳梗塞などの発見に、MRIでは更に詳細に脳の萎縮の有無、病気の新旧に加えて、脳血管状態まで診ることができます。脳の動脈硬化の状態や、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤が早期発見可能です。時間と費用はかかりますが脳の病気が心配でしたらMRIの方をお勧めします。但し、ペースメーカーや体に金属を埋め込んでおられる方は検査出来ないことがありますのでご了承下さい。

★もの忘れドック(標準コース)(詳細コース)

「あれ、あれ」最近、名前が出てこなかったりしませんか？
脳の形態の異常と働きの異常を両方調べることで認知症の早期発見が可能です。解析プログラムにより解析することで萎縮や変性の程度を詳細に検討し、脳の働き(認知機能)を質問票でチェックします。精密ドックでは専門の心理療法士が時間をかけて色々な角度から脳の機能を精査、認知症のタイプ別診断も可能です。

★肺がん喀痰検査

男女問わず多いのが肺癌です。喫煙と関連するタイプと無関係のタイプがあるので、タバコを吸わない方も注意が必要です。少ない放射線被爆で高精度解析が出来る胸部CT・色々なタイプの肺癌の血液マーカー組み合わせ・CTやレントゲンで見つけにくい肺の入り口の癌の発見に役立つ喀痰細胞診を組み合わせることで、あらゆるタイプの肺癌の早期発見に威力を発揮します。喫煙者はもとより、癌家系の方にお勧めです。

★ロコモドック

ひとことで言うと「ねたきり度ドック」です。ねたきり原因の第1位は筋肉や骨の衰えであることをご存知でしょうか？筋骨の働きの低下や痛みのために運動不足となり、食欲が低下し、栄養状態が悪くなることから筋肉量が低下する、そのため更にはからだを動かすことが不自由になり転倒や骨折を来し寝たきりへの悪循環が生じます。ロコモドックでは筋肉量・骨密度・移動に必要な筋力を測定し、質問票と合わせて総合的に「ねたきり度」を判定しその方に適した生活習慣の在り方をアドバイスします。自分は大丈夫と思わずに、早めの対応を心がけましょう。

★睡眠ドック

お酒を呑む方、肥満の方、あごの小さい方に多いのが睡眠時無呼吸症候群です。睡眠中の大きないびきや、昼間の発作的な眠気・倦怠感・集中力の低下などの症状があれば要注意です。お仕事や家事に支障を来すばかりか、放置すると脳萎縮や心臓病をもたらすことが知られています。血中酸素と鼻呼吸をみる簡易検査と脳波を同時記録し眠りの深さまで調べるポリグラフがありますが、心配な方は、まず簡易検査を受けていただくことをお勧めします。

★ストレスチェック

ストレス社会の現代、放置すると万病の素となるストレスですが、個人によって反応に差があります。詳細な質問票から性格やストレスに対する強さを判定し、精神科の専門医がじっくりお話を聴きながらその人に合った具体的なアドバイスをします。

★甲状腺ドック

喉元に位置する小さな甲状腺。体のエネルギーを調節する「甲状腺ホルモン」を産生する重要な臓器です。働きが低下する「橋本病」、亢進する「バセドー病」が有名ですが、時に癌も発症します。意外に見落とされている事が多い病気で、偶然、血液検査とエコーで発見されることもあります。発汗・動悸、寒がり・倦怠感・むくみ・急激な体重の増減などございましたら、一度、甲状腺ドックを受けてみて下さい。

★前立腺ドック

男性の場合、年齢と共に大きくなる前立腺。多くの場合は良性肥大が多いのですが、油断すると癌が隠れていることがあります。質問票・前立腺エコー・腫瘍マーカーPSAにより前立腺の病気を診断します。尿の勢いが弱くなった、残尿感がある、トイレが近いなど、症状があれば、前立腺チェックいただくことをお勧めします。